



平成28年2月29日

関係学部等の長 殿  
関係機関等の長 殿

東京大学 大学院農学生命科学研究科長  
丹下 健（公印省略）

### 特任教員（特任助教）の公募について

本研究科生圏システム学専攻では、生態系・生物多様性の保全とその持続的利用をもとにした自然共生社会の実現を目指した研究・教育を行っております。このたび、下記により教員（特任助教）を公募いたします。つきましては、貴学、貴機関の関係各位に周知いただきたく、お願い申し上げます。

### 記

1. 募集人員：特任助教1名
2. 所属・勤務地：東京大学 大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻  
生物保全学講座 保全生態学専攻分野  
東京都文京区弥生1-1-1
3. 募集職の研究領域と授業科目：
  - 1) 研究領域：保全生態学
  - 2) 担当予定授業科目：  
学部（フィールド科学専修、緑地環境学専修）：保全生態学実習  
大学院（生圏システム学専攻）：フィールド科学総論、保全生態学演習、生圏システム学実験・研究、保全生態学特別演習、生圏システム学特別実験・研究
4. 採用予定時期：平成28年8月1日以降
5. 応募資格：以下のすべてに該当する方
  - 1) 博士の学位を有する方
  - 2) 上記の研究領域で優れた研究業績を有する方
  - 3) フィールド研究の豊富な経験を有する方

- 4) 当該専攻分野の教員と協力して、学部および大学院における教育・研究指導を積極的に行える方
- 5) 上記3.2)の授業科目を担当可能な方

6. 留意事項：

- 1) 雇用契約は毎年更新し、通算5年を限度とします。
- 2) 正規の助教ポストが配置されれば、それに振り替えることがあります。  
正規助教の任期は5年で、1回に限り再任されることがあります。
- 3) 給与等雇用条件は本学の規程によります。
- 4) 裁量労働制です。

7. 選考方法：当該専攻分野の特任助教選考委員会にて選考し、教授会の議を経て候補者を決定します。なお、必要に応じて面接を行います。面接を実施する場合には、平成28年5月21日（土）を予定しています。教授会での審議終了後、選考結果を通知します。応募書類は返却しません。

8. 提出書類：各1部

- 1) 履歴書
- 2) 研究業績目録（学位論文、原著論文、総説、著書、受賞、その他）
- 3) 教育業績目録（担当授業科目、非常勤講師等）
- 4) 社会貢献目録（学会活動、委員会活動等）
- 5) 主要論文の別刷、3編以内（コピー可）
- 6) これまでの研究・教育の概要（2000字程度）
- 7) 今後の研究の方針ならびに抱負（2000字程度）
- 8) 学部学生および大学院学生に対する教育方針（1000字程度）
- 9) 自己の研究・教育経歴等について問い合わせることのできる方2名の氏名、所属・職名、連絡先（住所、電話、メールアドレス）

9. 公募締切：平成28年4月28日（木）（必着）

10. 公募書類送付先および問い合わせ先：

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学 大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻  
専攻長 大黒俊哉

e-mail: [aokuro\[at\]mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:aokuro@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

[at]を@にして送信してください。

（封筒に「保全生態学特任助教応募書類」と朱書し、必ず簡易書留で送付してください）

11. その他：本専攻および研究科・学部の概要等は以下のホームページを参照してください。本研究科では、履歴、業績（研究業績、教育業績、社会貢献）、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

<http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/>（専攻）

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/>（研究科）